

次世代型レバレッジ投信の完成形？

Z テック20 2倍ブル

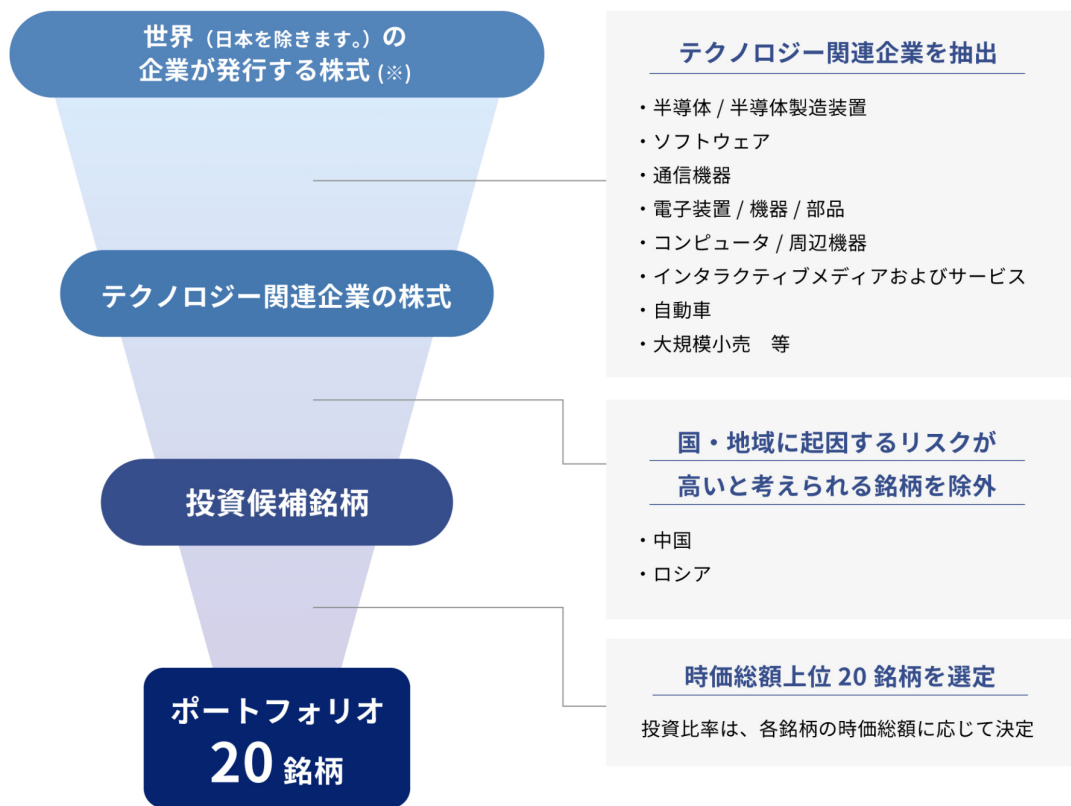
株式200%×為替100%

iFree レバレッジ Zテック20・2倍ブル
追加型投信／海外／株式
※当ファンドは、特化型運用を行ないます。

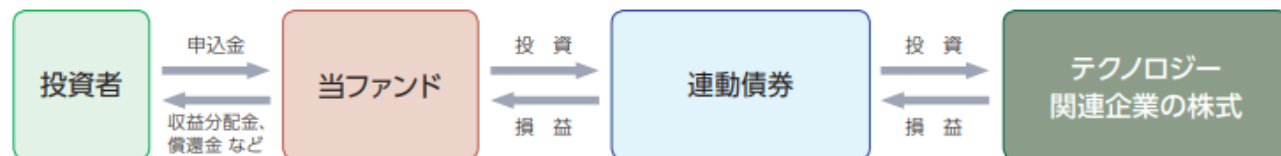
iFreePlus 世界トレンド・テクノロジー株(Zテック20)
追加型投信／海外／株式
※当ファンドは、特化型運用を行ないます。

Zテック20・2倍ブルの特徴

ポートフォリオ構築のイメージ



ファンドの仕組み



- 世界的上場企業からテック株20銘柄に集中投資
- 連動債券を活用してレバレッジ2倍程度を実現（株式200%×為替100%）

設定日	: 2025年6月23日
信託報酬	: 年率0.765%(税込)程度*
リバランス	: 年2回(3月、9月)
為替ヘッジ	: 無し

*連動債券にかかる費用等を含めたものです。実際の組入状況等により変動します。

※ 「株式」…米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式に限ります。(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)

※ 3月末、9月末基準で銘柄入替を実施します。ただし、時価総額上位になることが予想されるテクノロジー関連企業が新規上場する場合、基準月に関わらず銘柄入替を実施する可能性があります。

※ 上記プロセスは2026年3月時点のものであり、今後変更される可能性があります。

Zテック20・2倍ブル 組入銘柄一覧(2026年5月末時点)

	銘柄名	組入比率(%)
1	エヌビディア	28.4
2	アップル	25.0
3	アルファベット	25.0
4	マイクロソフト	17.5
5	アマゾン・ドット・コム	16.0
6	ブロードコム	11.0
7	台湾積体回路製造(TSMC)	9.7
8	テスラ	8.9
9	メタ・プラットフォームズ	8.7
10	マイクロン・テクノロジー	5.3
11	アドバンスト・マイクロ・デバイセズ	4.5
12	オラクル	3.3
13	ASMLホールディング	3.3
14	インテル	3.1
15	シスコシステムズ	2.6
16	ラムリサーチ	2.1
17	アプライド・マテリアルズ	1.9
18	パランティア・テクノロジーズ	1.9
19	KLA	1.3
20	SAP	1.2

※比率は、純資産総額に対するものです。

※連動債券への投資を通じたレバレッジ運用のため、合計で100%を超える比率となります。

- 特化型運用における投資制限※¹により、1銘柄あたり保有上限は35%(実質17.5%)
- 投資対象は米国上場の株式※²に限ることから、Zテック20(1倍)とは組入銘柄が若干異なる =サムスン電子、SK Hynixが除外され、KLA、SAPが組入

※ 1:一般社団法人資産運用業協会の規則に定めにより、当ファンドにおけるエクスポージャーは35%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人資産運用業協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

※ 2:「株式」…米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式に限ります。(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)

(ご参考)信用リスク集中回避のための投資制限にかかる対応実施のお知らせ

2026年5月1日

ご投資家の皆様へ

大和アセットマネジメント株式会社

信用リスク集中回避のための投資制限にかかる対応実施のお知らせ

弊社が運用しております以下のファンドにおいて、一般社団法人資産運用業協会「投資信託等の運用に関する規則」に定める投資制限を超過した銘柄がございましたが、基準比率の範囲内となるよう調整を完了しましたので、お知らせいたします。

記

該当ファンド・
iFree レバレッジ Zテック 20・2倍ブル

銘柄名	超過日	調整完了日
エヌビディア	2026年3月30日	2026年4月1日

以上

Zテック20(1倍)の魅力



1 時価総額加重平均

- NVIDIAやGoogleといったメガテックを時価総額に応じて組み入れていることから、中小型ハイテク株と比べて、安定的な成長が期待できる



2 投資対象を米国・NASDAQに限定していない

- NYSE上場のOracle、台湾企業でADRのTSMCも組み込むことができる
- Zテック20(1倍)ではサムスン電子、SK Hynixもフォローできる



3 巨大IPOの早期組み入れ可能性

- SpaceX、Anthropic、OpenAIといったIPOを控えた巨大企業を早期に組み入れる可能性がある
(Zテック20は指数ではなく、ルールベース運用なので大和AMの裁量となる)

※SpaceXは資料作成時点は未上場でしたが、2026/6/12に上場しております。

※出演者の個人的見解であり、大和アセットマネジメントの見解を示すものではありません。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

IPO銘柄の組み入れ可能性

異次元のヘクトコーン(3社合計で3.6兆ドル)がIPOを控えている…

*予想時価総額

SpaceX	1.8兆ドル*
Anthropic	9,650億ドル*
OpenAI	8,520億ドル*

Zテック20採用基準

時価総額上位になることが予想されるテクノロジー関連企業が新規上場する場合、基準月に関わらず銘柄入替を実施する可能性があります。

- ✓ **Zテック20・2倍ブルにも採用の可能性あり。**
- ✓ **しかもウェイトは浮動株調整を行わない時価総額ベース**

- NASDAQ100はFast Entryを開始するがウェイトは抑えられる見込み
- S&P500はルール変更待ち(変更しても上場6か月後?)
- FANG+への採用は時間がかかる見込み

※SpaceXは資料作成時点は未上場でしたが、2026/6/12に上場しております。

※出演者の個人的見解であり、大和アセットマネジメントの見解を示すものではありません。

※上記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

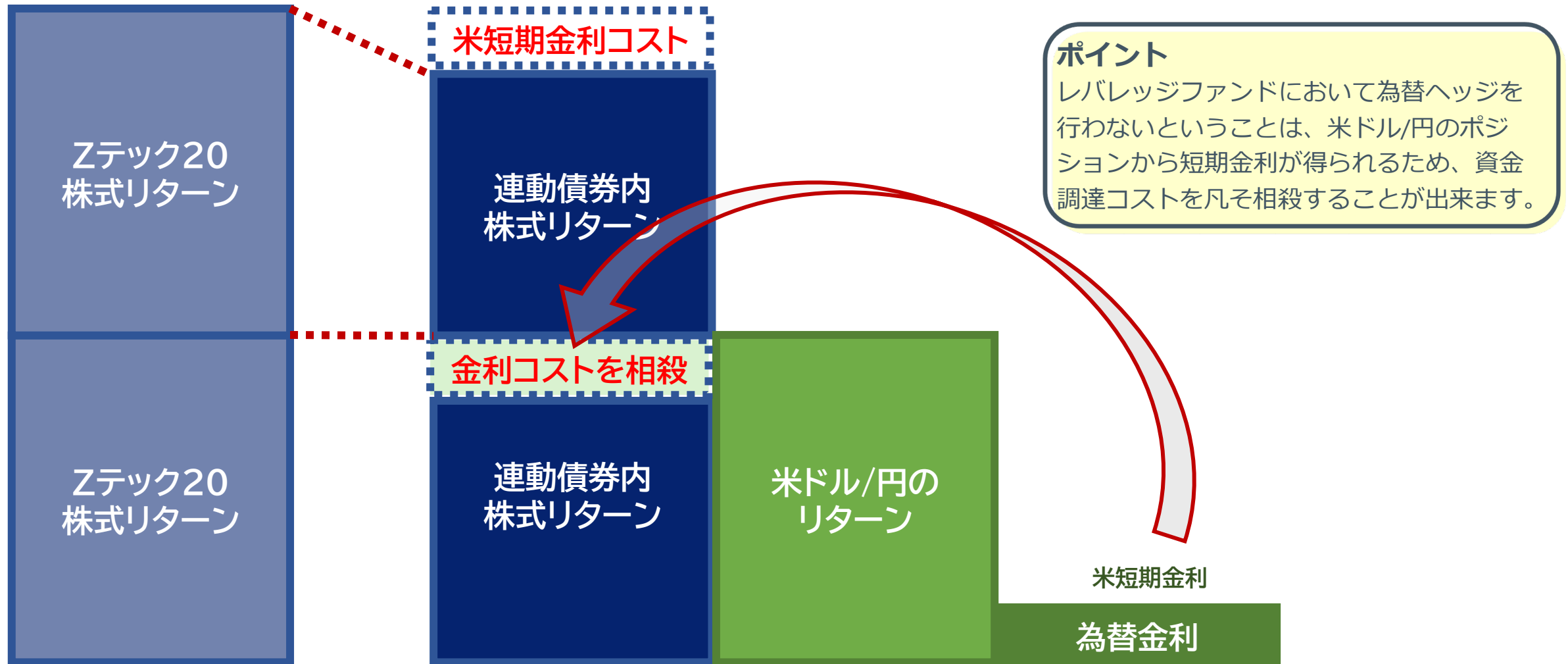
当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

レバレッジ型投資信託と信用取引との違い

	一般的な信用取引(米国株式)	レバレッジ型投資信託
仕組み	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社から資金・株を借りて売買 担保(委託保証金)を差し入れ、委託保証金率を自分で管理する 	<ul style="list-style-type: none"> 先物・スワップ等デリバティブで日次2倍の値動きを追求。 ファンド内部でレバレッジ管理
レバレッジ	<ul style="list-style-type: none"> 手元資金の約2倍 委託保証金率低下で追加保証金(追証)が発生するリスクあり 	<ul style="list-style-type: none"> 日次リターンで2倍(毎営業日リセット) 複利効果で長期保有時は指数×2倍と乖離する点に注意
損失上限	<ul style="list-style-type: none"> 元本超過の損失が発生する可能性あり 追証・強制決済で損失が膨らむケースも 	<ul style="list-style-type: none"> 最大損失は投資元本まで 追証なし
コスト	貸株料・日歩(金利) + 売買手数料など	信託報酬(年率) + 売買コストなど

※上記は仕組みの理解を目的として簡略化したイメージであり、実際の運用成果を示唆するものではありません。

当ファンドにおける株式と為替のリターンのイメージ



理想の2倍

Zテック20・2倍ブルの仕組み

※ 株式への投資は、連動債券への投資を通じて行います。

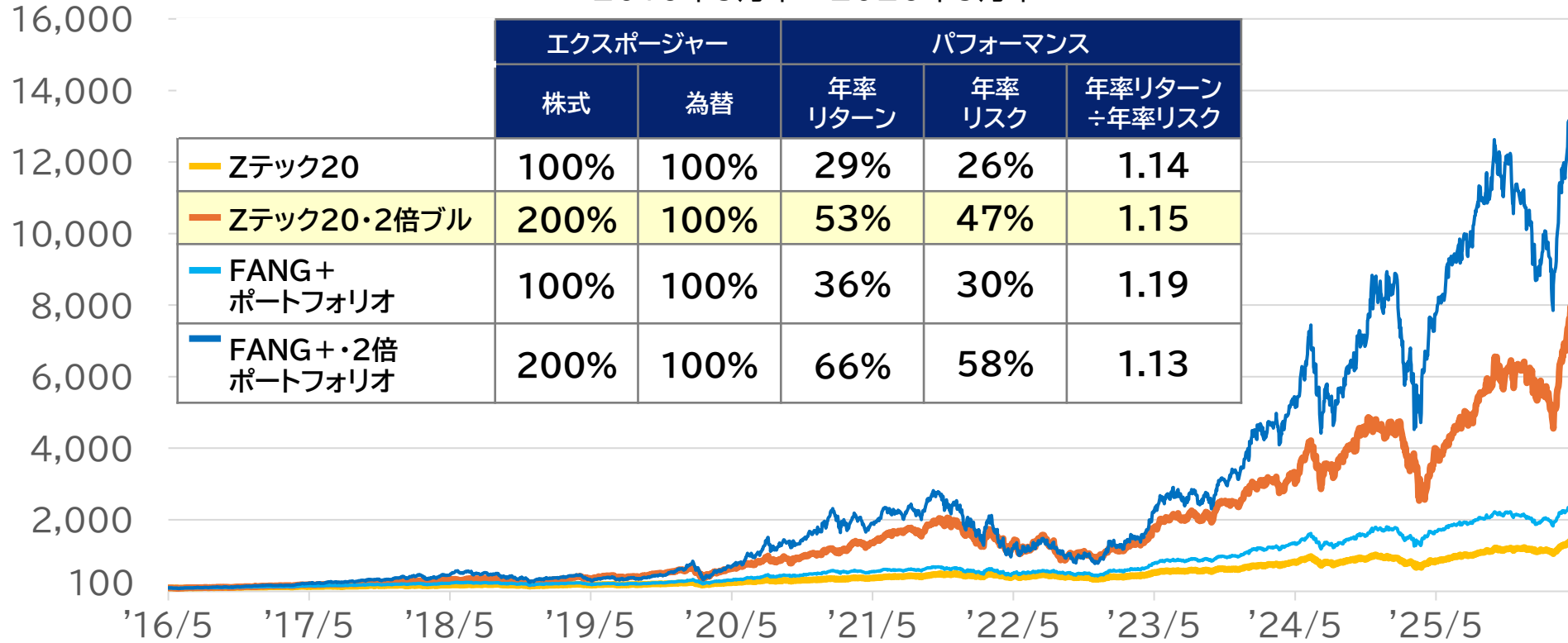
※ 株式リターン部分のポートフォリオはiFreePlus 世界トレンド・テクノロジー株(Zテック20)と異なる場合があります。

※ 上記はイメージであり、当ファンドの投資成果を示唆または保証するものではありません。

Zテック20・2倍ブル パフォーマンスシミュレーション①

過去10年のパフォーマンスシミュレーション

2016年5月末～2026年5月末



※ 2016年5月末を100として指数化。

※ 各シミュレーションは配当再投資、円ベース。

※ Zテック20は2024年12月末までは信託報酬分0.495%(年率)を控除したシミュレーション、2025年1月以降はファンド実績を使用。

※ Zテック20・2倍ブルは2025年6月末までは信託報酬分0.765%(年率)を控除したシミュレーション、2025年7月以降はファンド実績を使用。

※ 上記シミュレーションは、あくまでも参考のために掲載したものであり、当ファンドとは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

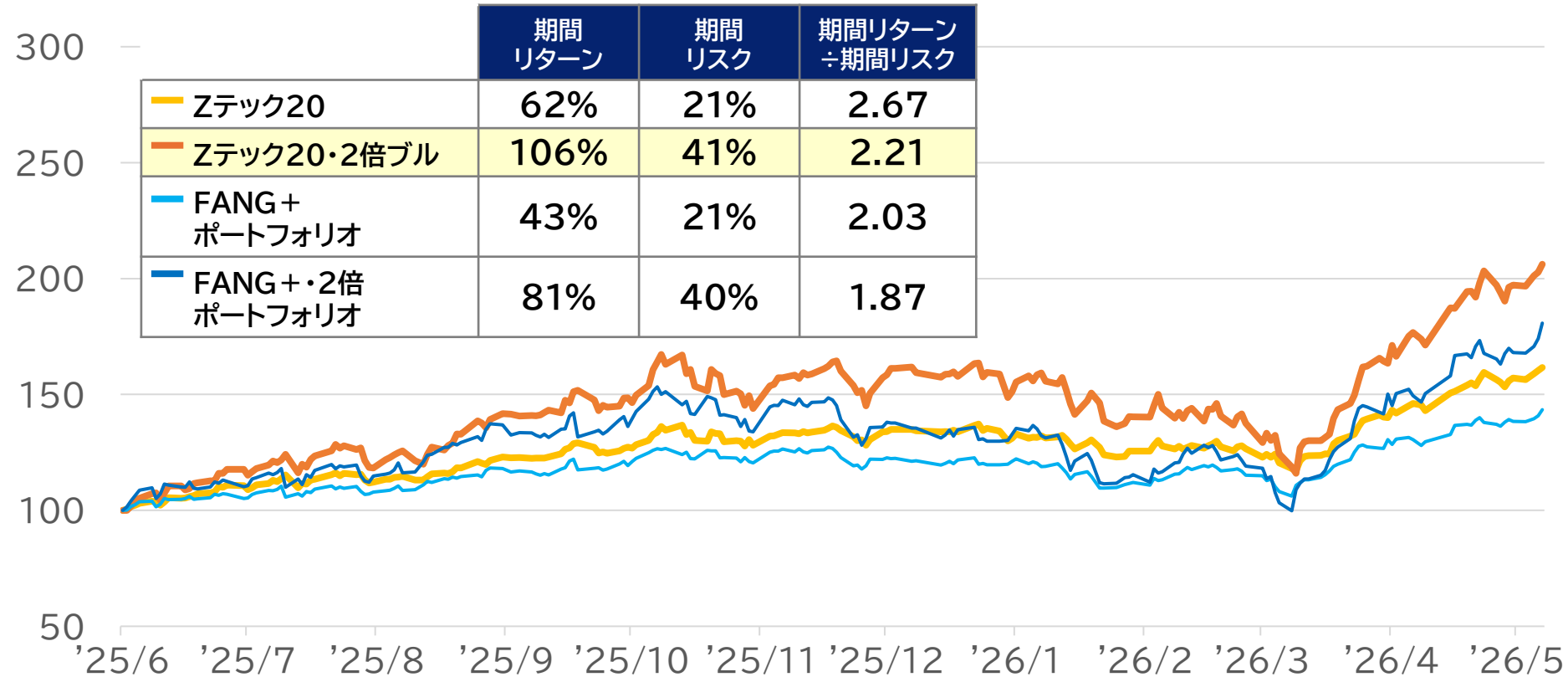
※ FANG+ポートフォリオは年率0.775%のコスト、FANG+・2倍ポートフォリオは年率1.275%のコストに加えて、それぞれ発生する費用を推計して控除した円ベースのシミュレーションです。実際のファンドの運用とは異なります。

(出所)Bloombergより大和アセットマネジメント作成

Zテック20・2倍ブル パフォーマンスシミュレーション②

設定来のパフォーマンスシミュレーション

2025年6月23日～2026年5月29日



※ Zテック20・2倍ブルの設定日(2025年6月23日)を100として指数化。

※ 各シミュレーションは配当再投資、円ベース。

※ Zテック20、Zテック20・2倍ブルはファンド実績を使用。

※ 上記シミュレーションは、あくまでも参考のために掲載したものであり、当ファンドとは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※ Zテック20・2倍ブルとZテック20のシミュレーションにおいて、株式ポートフォリオは異なる場合があります。

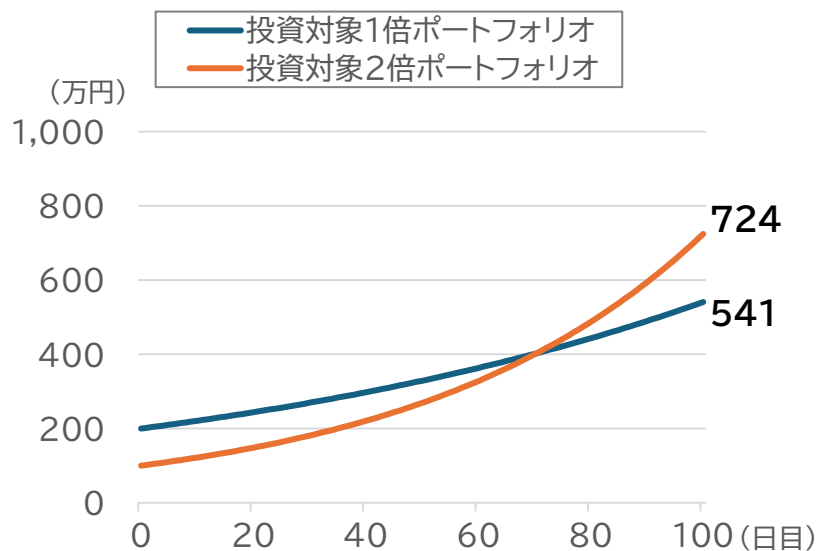
※ FANG+ポートフォリオは年率0.7755%のコスト、FANG+・2倍ポートフォリオは年率1.275%のコストに加えて、それぞれ発生しうる費用を推計して控除した円ベースのシミュレーションです。実際のファンドの運用とは異なります。

(出所)Bloombergより大和アセットマネジメント作成

(ご参考)レバレッジの特性

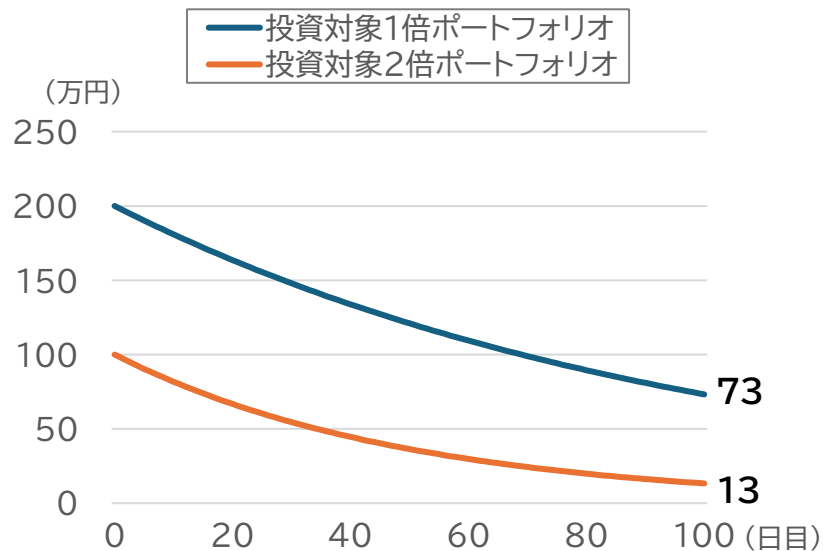
一般的に、レバレッジ(ブル)をかけた運用は、上昇トレンドが続いている環境やボラティリティが低い環境においてパフォーマンスを発揮しやすい傾向

【仮定①】毎営業日1%ずつ上昇する相場において、投資対象1倍ポートフォリオに200万円、投資対象2倍ポートフォリオに100万円保有していた場合…



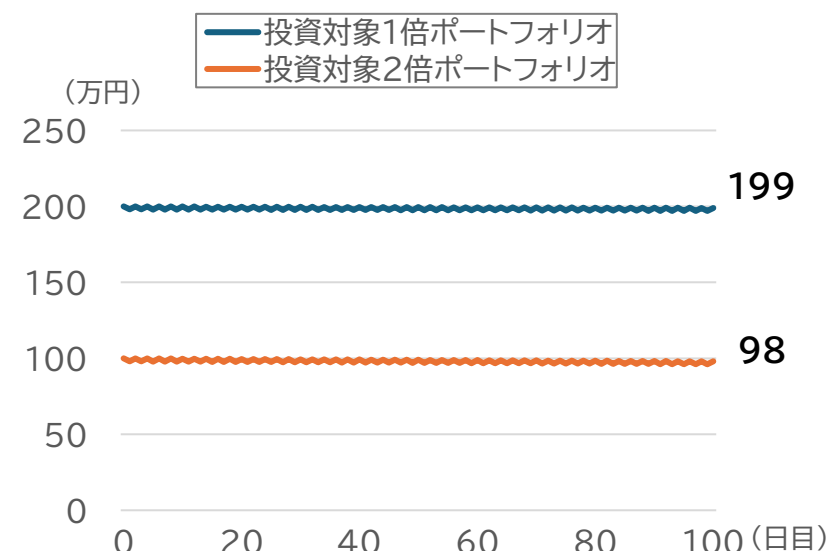
	0日目	100日目	損益
投資対象1倍ポートフォリオ	200	541	+341
投資対象2倍ポートフォリオ	100	724	+624

【仮定②】毎営業日1%ずつ下落する相場において、投資対象1倍ポートフォリオに200万円、投資対象2倍ポートフォリオに100万円保有していた場合…



	0日目	100日目	損益
投資対象1倍ポートフォリオ	200	73	-127
投資対象2倍ポートフォリオ	100	13	-87

【仮定③】毎営業日1%ずつ上昇と下落を繰り返す相場において、投資対象1倍ポートフォリオに200万円、投資対象2倍ポートフォリオに100万円保有していた場合…



	0日目	100日目	損益
投資対象1倍ポートフォリオ	200	199	-1
投資対象2倍ポートフォリオ	100	98	-2

※上記はあくまでシミュレーションであり、将来の運用を示唆・保証するものではありません。
 ※出演者の個人的見解であり、大和アセットマネジメントの見解を示すものではありません。

(出所)大和アセットマネジメント作成

組入上位2銘柄のご紹介(2026年5月末時点)

エヌビディア

注目ポイント

- AI GPU市場で圧倒的シェアを有するリーディング企業。Blackwell/Rubin世代でデータセンター需要が続き、粗利率75%超の高収益構造が強み。
- さらにフィジカルAI(ヒューマノイドロボットなど) Isaac/GR00T/Omniverseを推進し、次世代巨大市場をリード。CUDAエコシステムで長期優位を維持。

株価



※出演者の個人的見解であり、大和アセットマネジメントの見解を示すものではありません。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※上記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

アルファベット(Google)

注目ポイント

- フルスタックAIの強みが最大の武器。自社Geminiモデル+最新TPUチップ+Google Cloudを一体化し、コストパフォーマンスでAIインフラにおいて競争力を高めている。
- TPUは外部販売も視野に入れるほどの優位性を持ち、検索・広告の安定収益+クラウド急成長でバランス抜群。

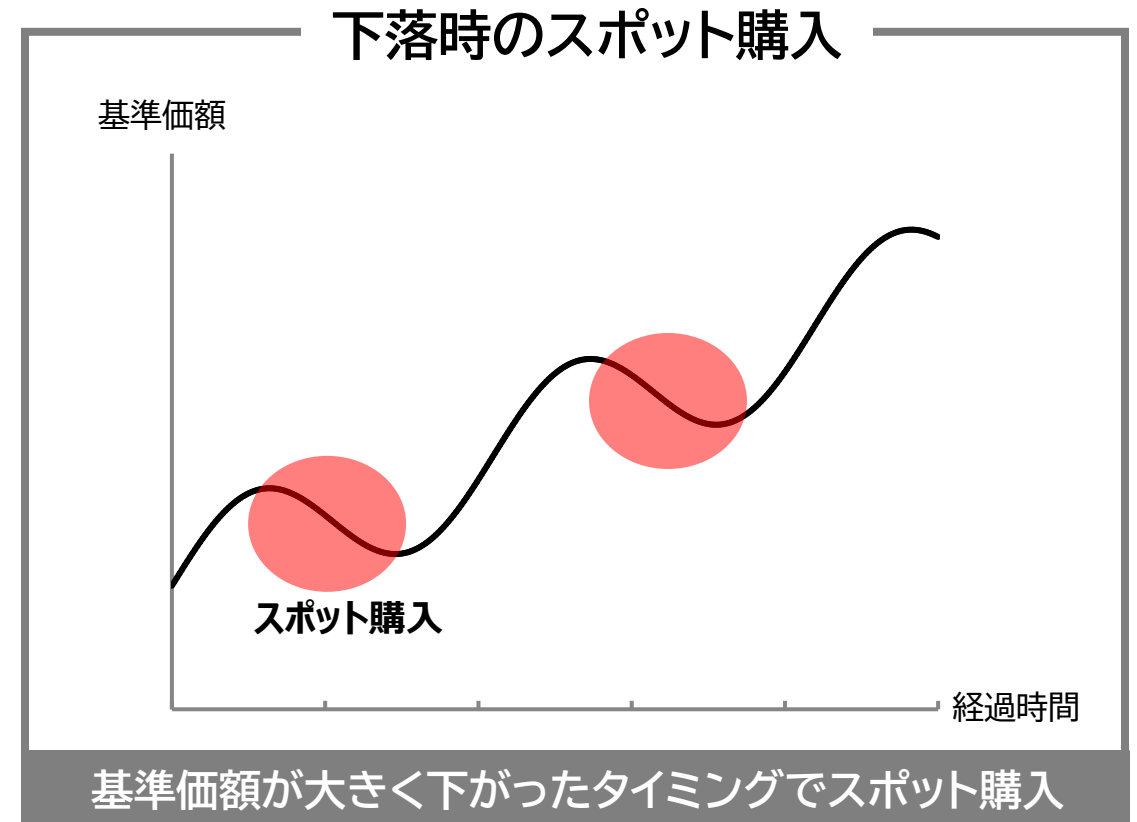
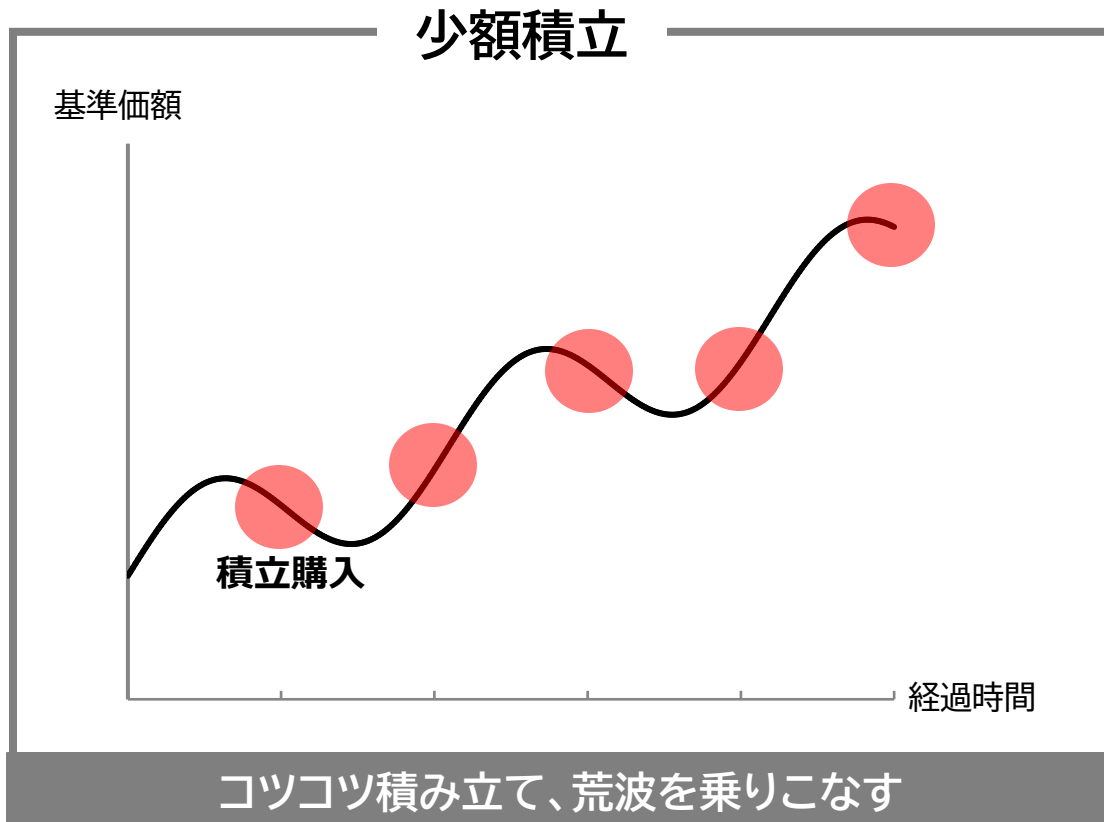
株価



(出所)Bloombergより大和アセットマネジメント作成

Zテック20・2倍ブルの賢い付き合い方

世界のテック株20銘柄×2倍レバレッジ = 高い成長期待と大きな値動き



※ 長期に保有する場合、対象資産の値動きに比べて基準価額が大幅に値下がりすることがあるため、そのことについてご理解いただける方に適しています。

※ 上記はイメージであり、実際のリスク・リターンを示唆するものではありませんのでご注意ください。

※ 出演者の個人的見解であり、大和アセットマネジメントの見解を示すものではありません。

ご清聴ありがとうございました



投資リスク・ファンドの費用

iFreeレバレッジ Zテック20・2倍ブル

追加型投信／海外／株式 ※当ファンドは、特化型運用を行いません。

■基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

- 株価の変動(価格変動リスク・信用リスク)
- 為替変動リスク
- カンントリー・リスク
- 当ファンドの戦略に関するリスク
- 連動債券への投資に伴うリスク
- 特定銘柄への集中投資リスク
- その他(解約申込みに伴うリスク等)

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

※ 連動債券への投資においては、一般に借入金利に相当する負担があります。当ファンドでは、信託財産の純資産総額の2倍相当額の株式へ連動債券を通じて投資するため、大きな金利負担が生じる可能性があり、また長期に保有する場合、その影響が累積されます。

※ 当ファンドはレバレッジ倍率に比した高リスク商品であり、初心者向けの商品ではありません。長期に保有する場合、対象資産の値動きに比べて基準価額が大幅に値下がりすることがあるため、そのことについてご理解いただける方に適しています。

- 一般社団法人資産運用業協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」(分散投資規制)では、投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高いファンドを特化型運用ファンドとしています。支配的な銘柄とは、次のいずれかの割合が10%を超える銘柄をいいます。
 - ・投資対象候補銘柄の時価総額に占めるその銘柄の時価総額の割合
 - ・運用管理等に用いる指数に占めるその銘柄の構成割合
- 当ファンドは、実質的な主要投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高い特化型運用ファンドです。このため、特定の銘柄へ投資が集中することがあり、発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

お客さまにご負担いただく費用について(消費税率10%の場合)

お客さまが直接的に負担する費用	購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。
	信託財産留保額	ありません。
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	運用管理費用(信託報酬)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して 年率0.765%(税込)程度 (連動債券にかかる費用等を含めたものです。実際の組入状況等により変動します。)
	その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。

くわしくは各ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク・ファンドの費用

iFreePlus 世界トレンド・テクノロジー株(Zテック20)

追加型投信／海外／株式 ※当ファンドは、特化型運用を行いません。

■基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

■株価の変動(価格変動リスク・信用リスク) ■為替変動リスク ■カントリー・リスク ■特定銘柄への集中投資リスク ■その他(解約申込みに伴うリスク)

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

- 一般社団法人資産運用業協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」(分散投資規制)では、投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高いファンドを特化型運用ファンドとしています。支配的な銘柄とは、次のいずれかの割合が10%を超える銘柄をいいます。
 - ・投資対象候補銘柄の時価総額に占めるその銘柄の時価総額の割合
 - ・運用管理等に用いる指数に占めるその銘柄の構成割合
- 当ファンドは、実質的な主要投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高い特化型運用ファンドです。このため、特定の銘柄へ投資が集中することがあり、発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

お客さまにご負担いただく費用について(消費税率10%の場合)

お客さまが直接的に負担する費用	購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。
	信託財産留保額	ありません。
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	運用管理費用(信託報酬)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して年率 0.495%(税込)
	その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。

くわしくは各ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は大和アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

■投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。

■分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

■当資料では、NYSE FANG+指数をFANG+、iFreePlus 世界トレンド・テクノロジー株(Zテック20)をZテック20と呼ぶことがあります。

■当資料でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

■当資料で使用した画像等はイメージです。

■当資料に掲載した情報は、すべて出演者の個人的見解であり、大和アセットマネジメントの見解を示すものではありません。

設定・運用は…

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

SBI証券からのご留意事項

■本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。SBI証券は、セミナー及び資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではありません。また、過去の実績や予想等は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。商品ご購入の最終決定は、商品の内容、リスク及び費用等を十分ご理解いただきましてうえで、お客様ご自身の判断と責任で行っていただきますようお願いいたします。

■SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。

■また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

■ブル・ベア型の投資信託は、主に短期売買により利益を得ることを目的とした商品です。指数先物取引等を積極的に活用し、日々の基準価額の変動率を各種指数・資産等(以下「対象指数」といいます。)の変動率にあらかじめ定めた倍率(2倍以上またはマイナス2倍以下。以下同じ。)を乗じて得た数値に一致させることを目指して運用されますが、2営業日以上の場合、基準価額の変動率は同期間の対象指数の変動率にあらかじめ定めた倍率を乗じて得た数値とは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。上記の理由から、一般的に長期間の投資には向かず、比較的短期間の市況の値動きを捉えるための投資に向いている金融商品といえます。また、対象とする指数の値動きにより基準価額が下落し、非常に大きな損失を被ることがあります。投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を大きく割込むことがあります。

※本資料の内容は、セミナー講演者の個人的見解であり、SBI証券の見解を示すものではありません。

目論見書のご請求・お申込みは…

SBI証券

〈販売会社〉

商号等 株式会社SBI証券
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号
商品先物取引業者

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人日本STO協会 日本商品先物取引協会
一般社団法人日本暗号資産等取引業協会